

## 消毒薬の種類と効果

種類	効果	一般細菌 サルモネラ等	芽胞菌,加トリゾウム	カビ	ウイルス		コクシジウム	一般的な使用対象						市販品名	注意点
					膜有 (イソルイソガ等)	膜無 (口蹄疫等)		畜舎	器具	踏込み槽	畜体	手指	堆肥等		
逆性石けん	◎	×	△	○	×	×	◎	○	○	◎	○	×	◎	パコマ、アストップ、ロソントクト、クリアキル、オスバン等	有機物で効力減少
両性石けん	◎	×	△	○	×	×	◎	○	◎	◎	△	×	◎	パステン、パステンコンツ、ネオラック、エイトール	有機物で効力減少
塩素系	◎	◎	○	◎	○	×	○	○	-	△	△	○	△	クレンテ、スミクロール等、アンテックビルコンS	金属腐食、高温で塩素が減少
ヨード剤	◎	○	○	○	○	×	○	○	-	◎	○	×	△	クリンナップ、リンドレス、ポリアップ、ヨーデット、ヨードホール	金属腐食、日光で効力減少
アルデヒド製剤	◎	◎	◎	◎	○	-	◎	○	-	×	×	◎	-	グルタクリーン、グルターZ	人体毒性注意
オルソ剤	◎	×	○	○	×	○	○	○	◎	×	×	◎	○	タナベゾール、パンゾール、トライキル他	日光により効力減少
アルコール	◎	×	○	◎	×	×	△	○	-	○	◎	×	-		蒸発しやすい
消石灰	◎	-	○	○	-	-	○	×	×	×	×	◎	?		皮膚刺激、空気により効力減少

【消毒効果】◎：効力強い ○：効力あり △：効力不確実 ×：効力なし -：不明

【使用対象】◎：最適 ○：有効 △：注意が必要 ×：不適 -：不明

消毒薬の種類、有機物の状況により、各種ウイルス、細菌等への効果も異なります。

### 【消毒の手順】

- ①有機物の除去 ②水洗 ③乾燥 ④消毒

### 【消毒のポイント】

- ①濃度（用法・用量どおりの希釈）②時間（作用時間が長いほど効果大），③温度（適正な温度で）

